

お台場旧防波堤（鳥の島 2 島）における鳥類のモニタリング調査 春季調査（4 月）報告書

2019 年 5 月 一般社団法人 お台場海づくり協議会

1. 調査目的

お台場海浜公園内防波堤（通称鳥の島）における鳥類の生息環境の保全について検討するために、当地における鳥類の利用状況の現況を把握するとともに、今後の経年変化を把握するための基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象地域

お台場海浜公園内防波堤（通称鳥の島）2 島及び周辺水域（周辺 50 m 程度）

3. 調査期日等

調査期日等を表 1 に示す。

表 1 調査期日等

調査期日	調査時間	天候
平成 31 年 4 月 18 日（木）	8 : 00～14 : 00	晴

4. 調査方法

各調査項目において、倍率 8～10 倍程度の双眼鏡や倍率 20～60 倍程度の望遠鏡などを必要に応じて使い分けながら調査を実施した。また、上陸後に実施する（2）～（4）の調査については、調査精度と定量性を確保するため、2 島に調査員を 1 名ずつ配置し、2 島同時に実施した。

（1）船上センサス

鳥の島の 2 島の 50 m 程度沖を船舶により定速で周回しながら、鳥の島及び周辺を観察し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。

（2）ラインセンサス

各島の岸沿いを縦断するセンサスルートを設定し、時速 1～2 km 程度の速度で歩きながら目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。センサスルートは各島に 1 本を設定し、観察範囲は片側 50 m（両側 100 m）とした。

(3) 定点観察調査

2島の各2点に眺望の卓越した定点を設定し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。観察半径は50m程度、調査時間は各30分間とした。

(4) 任意観察調査

鳥の島の2島を任意に踏査し、目視または鳴き声などで確認された鳥類の種名、個体数、行動などを記録した。



写真 1 各調査手法における調査風景



図 1 調査地点図

5. 調査結果

(1) 現地調査結果

- 現地調査の結果、9目 18科 25種が確認された（表2）。
- 確認種のおよそ半数は水域やその周辺に生息する鳥類であり、カルガモやアオサギ、ハクセキレイなど 13種が確認された。島内の樹林では、シジュウカラやヒヨドリ、アカハラなど森林やその周辺に生息する鳥類が 8種確認された。そのほか、猛禽類であるトビや、都市部でも見られるキジバトやハシブトガラス、スズメが確認された。
- 渡り区別にみると、カワウやカワラヒワなどの留鳥（ある地域で一年中見られる種）が最も多く、次いでアカハラやアオジなどの冬鳥（ある地域で冬季に見られる種）が確認されたほか、コアジサシといった夏鳥（ある地域で夏季に見られる鳥）も確認された。
- 重要種はスズガモ、カンムリカイツブリ、コサギ、オオバン、タシギ、イソシギ、コアジサシ、トビの合計 8種が確認された（表2）。島内では、護岸周辺にとまるタシ

ギや、羽づくろいを、行って休息するイソシギが確認された。島周辺の海域では、群れで遊泳するスズガモや、単独で遊泳するカンムリカイツブリ、オオバンが確認されたほか、飛翔するコサギ、コアジサシ、トビが確認された。

- 確認した重要種のうち、特に選定基準上の重要度が高い種としては、コアジサシが挙げられる。コアジサシは国際希少野生動植物に指定されているほか、環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類、東京都のレッドデータブックでは絶滅危惧ⅠB類に該当する。
- 外来種は確認されなかった（表 2）。
- 確認個体数が特に多かった種はカワウであった。カワウは、船上センサスでは 2 島で合計 317 個体（表 3）、ラインセンサスでは合計 184 個体（表 4）が確認され、優占度は東島で 90%、西島で 84%を占めたほか、定点観察調査では合計 115 個体（表 5）が確認された。カワウはこの時期、多くのペアが抱卵期から育雛期であり、今回の調査では巣上での抱卵行動や、巣上にとまる親鳥と雛が確認された。
- 島内ではアブラナ類が結実していたが、カワラヒワがその種子を採餌する様子が確認された。カワラヒワは主に植物食であることから、アブラナ類の群落は本種の採餌場所として利用されているとみられる。また、アブラナ類を植栽したことで、アブラナ類を含む高茎草地の面積が昨年より増加したことにより、ホオジロやカワラヒワなどの森林周辺性の種の生息に好適な環境が創出されたと考えられる。

（2） 前回調査との比較

- 平成 29 年の秋季（10 月）～平成 30 年の夏季（7 月）までの調査を第 3 回、平成 30 年の秋季以降の調査を第 4 回（夏季は未調査）とし、第 3 回と第 4 回の春季調査の結果を比較した。表 6 に確認種の比較、表 7～9 は手法別に、表 7 に船上センサス結果、表 8 にラインセンサス結果、表 9 に定点観察調査結果の比較をそれぞれ示した。確認種数は、第 3 回では東島で 27 種、西島で 21 種、合計 29 種、第 4 回では東島で 22 種、西島で 20 種、合計 25 種であった（表 6）。第 3 回の確認種（29 種）のうち、6 割の種（18 種）は第 4 回でも確認されており、鳥類相に大きな変化はなかった。
- 今回の春季調査で初めて記録された種はタシギであった（表 10）。タシギは西島でのラインセンサス調査中、護岸付近から飛び立ち海域へ飛翔する個体が確認された。本種は冬鳥または旅鳥であり、水辺環境に生息することから一時的に出現した可能性がある。

表 2 鳥類確認種目録

No.	目	科	種	調査時期		重要種選定基準				
				春季(4月)		①	②	③	④	
				東島	西島					
1	カモ	カモ	カルガモ	○	○					
2			スズガモ	○	○				留意	
3	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	○					留意	
4	ハト	ハト	キジバト	○	○					
5	カツオドリ	ウ	カワウ	○	○					
6	ペリカン	サギ	アオサギ	○	○					
7			コサギ	○	○				VU	
8	ツル	クイナ	オオバン	○	○				VU	
9	チドリ	シギ	タシギ		○				VU	
10			イソシギ	○	○				VU	
11		カモメ	ユリカモメ	○	○					
12			ウミネコ	○	○					
13			コアジサシ		○		国際	VU	EN	
14		タカ	タカ	トビ		○				NT
15		スズメ	カラス	ハシブトガラス	○	○				
16	シジュウカラ		シジュウカラ	○	○					
17	ヒヨドリ		ヒヨドリ	○	○					
18	メジロ		メジロ	○						
19	ヒタキ		アカハラ	○						
20			ツグミ	○						
21	スズメ		スズメ	○	○					
22	セキレイ		ハクセキレイ	○	○					
23	アトリ		カワラヒワ	○	○					
24	ホオジロ		ホオジロ	○						
25		アオジ	○	○						
合計	9目	18科	25種	22種	20種	0種	1種	1種	8種	

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

注 2. 重要種選定基準は以下の通りである。

- ①文化財保護法(昭和 25 年、法律第 214 号)
天:天然記念物 特:特別天然記念物
- ②「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(平成 4 年、法律第 75 号;平成 23 年改訂)
国内:国内希少野生動物 国際:国際希少野生動物
- ③「環境省レッドリスト 2019 の公表について」(平成 31 年、環境省)における掲載種
EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類
NT:準絶滅危惧種 DD:情報不足 LP:絶滅のおそれのある地域個体群
- ④「レッドデータブック東京 2013~東京都の保護上重要な野生生物種(本土部解説版)~」(平成 25 年、東京都)における区部の掲載種
EX:絶滅 EW:野生絶滅 CR:絶滅危惧 IA 類 EN:絶滅危惧 IB 類 VU:絶滅危惧 II 類
NT:準絶滅危惧 DD:情報不足 留意:留意種

表 3 船上センサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期		合計 個体数
				春季(4月)		
				東島	西島	
1	カモ	カモ	カルガモ	4	9	13
2	カツオドリ	ウ	カワウ	200	117	317
3	ペリカン	サギ	アオサギ	2	1	3
4			コサギ	1	0	1
5	チドリ	シギ	イソシギ	2	2	4
6		カモメ	ユリカモメ	1	1	2
7			コアジサシ	0	2	2
8	スズメ	カラス	ハシブトガラス	2	2	4
9		シジュウカラ	シジュウカラ	1	1	2
10		ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	0	4
11		スズメ	スズメ	0	3	3
12		アトリ	カワラヒワ	2	1	3
13		ホオジロ	アオジ	1	0	1
合計	5 目	11 科	13 種	220	139	359

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 4 ラインセンサス結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				春季(4月)				
				L1(東島)		L2(西島)		
				個体数	優占度	個体数	優占度	
1	カツオドリ	ウ	カワウ	81	90%	103	84%	184
2	ペリカン	サギ	アオサギ	2	2%	3	2%	5
3	チドリ	シギ	タシギ	0	0%	1	1%	1
4			イソシギ	0	0%	2	2%	2
5		カモメ	ユリカモメ	0	0%	1	1%	1
6	スズメ	カラス	ハシブトガラス	4	4%	2	2%	6
7		ヒヨドリ	ヒヨドリ	1	1%	2	2%	3
8		スズメ	スズメ	0	0%	2	2%	2
9		アトリ	カワラヒワ	0	0%	7	6%	7
10		ホオジロ	アオジ	2	2%	0	0%	2
合計	4目	9科	10種	90	100%	123	100%	213
				5種		9種		10種

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第7版」(平成24年、日本鳥学会)に準拠した。

表 5 定点観察調査結果

No.	目名	科名	種名	調査時期				合計 個体数
				春季(4月)				
				東島		西島		
				P1	P2	P3	P4	
1	カモ	カモ	カルガモ	1	0	1	0	2
2			スズガモ	0	20	0	0	20
3	ハト	ハト	キジバト	0	0	1	0	1
4	カツオドリ	ウ	カワウ	21	21	10	63	115
5	ペリカン	サギ	アオサギ	2	2	1	3	8
6			コサギ	1	0	0	1	2
7	ツル	クイナ	オオバン	0	1	0	0	1
8	チドリ	カモメ	ユリカモメ	0	1	5	14	20
9			ウミネコ	4	2	1	0	7
10	スズメ	カラス	ハシブトガラス	2	0	0	0	2
11		シジュウカラ	シジュウカラ	2	0	0	0	2
12		ヒヨドリ	ヒヨドリ	4	2	4	0	10
13		ヒタキ	ツグミ	1	0	0	0	1
14		セキレイ	ハクセキレイ	1	0	0	0	1
15		アトリ	カワラヒワ	0	0	2	4	6
合計	7 目	12 科	15 種	39	49	25	85	198

注 1. 分類、配列などは原則として「日本鳥類目録 改訂第 7 版」(平成 24 年、日本鳥学会)に準拠した。

表 6 前回調査結果との比較（春季）

No.	種名	調査時期			
		春季（4月）			
		第3回（H29～H30）		第4回（H30～H31）	
		東島	西島	東島	西島
1	カルガモ	○	○	○	○
2	スズガモ	○	○	○	○
3	カンムリカイツブリ			○	
4	キジバト	○	○	○	○
5	カワウ	○	○	○	○
6	アオサギ	○	○	○	○
7	ダイサギ		○		
8	コサギ	○		○	○
9	オオバン	○	○	○	○
10	コチドリ	○	○		
11	タシギ				○
12	イソシギ	○	○	○	○
13	キョウジョシギ	○	○		
14	ユリカモメ	○	○	○	○
15	ウミネコ	○	○	○	○
16	オオセグロカモメ	○			
17	コアジサシ	○	○		○
18	トビ		○		○
19	オオタカ	○			
20	ハヤブサ	○			
21	オナガ	○			
22	ハシブトガラス	○	○	○	○
23	シジュウカラ	○	○	○	○
24	ツバメ	○	○		
25	ヒヨドリ	○	○	○	○
26	メジロ			○	
27	オオヨシキリ	○			
28	ムクドリ	○			
29	コムクドリ	○			
30	アカハラ			○	
31	ツグミ			○	
32	スズメ	○	○	○	○
33	ハクセキレイ	○	○	○	○
34	カワラヒワ	○	○	○	○
35	ホオジロ			○	
36	アオジ			○	○
合計	36 種	27 種	21 種	22 種	20 種
		29 種		25 種	

表 7 前回調査との比較：船上センサス結果（春季）

No.	種名	調査時期			
		春季(4月)			
		第3回 (H29~H30)		第4回 (H30~H31)	
		東島	西島	東島	西島
1	カルガモ	5	17	4	9
2	スズガモ	24	0	0	0
3	キジバト	1	0	0	0
4	カワウ	78	89	200	117
5	アオサギ	6	1	2	1
6	ダイサギ	0	1	0	0
7	コサギ	0	0	1	0
8	オオバン	1	5	0	0
9	イソシギ	1	1	2	2
10	キョウジョシギ	0	2	0	0
11	ユリカモメ	0	3	1	1
12	コアジサシ	1	0	0	2
13	オオタカ	1	0	0	0
14	ハシブトガラス	1	3	2	2
15	シジュウカラ	2	0	1	1
16	ヒヨドリ	1	0	4	0
17	コムクドリ	6	0	0	0
18	スズメ	0	0	0	3
19	ハクセキレイ	0	1	0	0
20	カワラヒワ	0	0	2	1
21	アオジ	0	0	1	0
合計個体数		128	123	220	139
合計島別種数		13種	10種	11種	10種
合計種数		17種		13種	

表 8 前回調査との比較：ラインセンサス結果（春季）

No.	種名	調査時期							
		春季(4月)							
		第3回(H29~H30)				第4回(H30~H31)			
		L1(東島)		L2(西島)		L1(東島)		L2(西島)	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	カルガモ	8	9%	11	12%	0	0%	0	0%
2	スズガモ	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
3	キジバト	1	1%	7	8%	0	0%	0	0%
4	カワウ	51	57%	65	71%	81	90%	103	84%
5	アオサギ	1	1%	1	1%	2	2%	3	2%
6	オオバン	0	0%	1	1%	0	0%	0	0%
7	タシギ	0	0%	0	0%	0	0%	1	1%
8	イソシギ	0	0%	0	0%	0	0%	2	2%
9	キョウジョシギ	0	0%	2	2%	0	0%	0	0%
10	ユリカモメ	5	6%	0	0%	0	0%	1	1%
11	コアジサシ	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
12	オナガ	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
13	ハシブトガラス	2	2%	1	1%	4	4%	2	2%
14	シジュウカラ	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%
15	ツバメ	2	2%	1	1%	0	0%	0	0%
16	ヒヨドリ	3	3%	1	1%	1	1%	2	2%
17	オオヨシキリ	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%
18	ムクドリ	2	2%	0	0%	0	0%	0	0%
19	コムクドリ	6	7%	0	0%	0	0%	0	0%
20	スズメ	0	0%	0	0%	0	0%	2	2%
21	ハクセキレイ	2	2%	1	1%	0	0%	0	0%
22	カワラヒワ	0	0%	0	0%	0	0%	7	6%
23	アオジ	0	0%	0	0%	2	2%	0	0%
合計	23種	89	100%	91	100%	90	100%	123	100%
		16種		10種		5種		9種	

表 9 前回調査との比較：定点観察調査結果（春季）

No.	種名	調査時期															
		春季（4月）															
		第3回（H29～H30）								第4回（H30～H31）							
		東島				西島				東島				西島			
		P1		P2		P3		P4		P1		P2		P3		P4	
		個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度	個体数	優占度
1	カルガモ	1	2%	5	14%	0	0%	3	7%	1	3%	0	0%	1	4%	0	0%
2	スズガモ	0	0%	1	3%	1	3%	0	0%	0	0%	20	41%	0	0%	0	0%
3	キジバト	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	4%	0	0%
4	カワウ	22	46%	9	25%	17	53%	21	48%	21	54%	21	43%	10	40%	63	74%
5	アオサギ	1	2%	1	3%	1	3%	2	5%	2	5%	2	4%	1	4%	3	4%
6	コサギ	1	2%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	1	1%
7	オオバン	0	0%	2	6%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	0	0%	0	0%
8	コチドリ	0	0%	1	3%	0	0%	3	7%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9	ユリカモメ	8	17%	12	33%	7	22%	7	16%	0	0%	1	2%	5	20%	14	16%
10	ウミネコ	0	0%	1	3%	0	0%	1	2%	4	10%	2	4%	1	4%	0	0%
11	コアジサシ	1	2%	2	6%	2	6%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
12	ハシブトガラス	3	6%	0	0%	2	6%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%
13	シジュウカラ	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%
14	ツバメ	0	0%	0	0%	0	0%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
15	ヒヨドリ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	4	10%	2	4%	4	16%	0	0%
16	ムクドリ	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
17	コムクドリ	5	10%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
18	ツグミ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
19	スズメ	3	6%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
20	ハクセキレイ	0	0%	1	3%	2	6%	3	7%	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
21	カワラヒワ	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	2	8%	4	5%
合計	21種	48	100%	36	100%	32	100%	44	100%	39	100%	49	100%	25	100%	85	100%
		10種		11種		7種		9種		10種		7種		8種		5種	

表 10 (1) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 4 回)

No.	種名	調査時期							
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31 春)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
1	オカヨシガモ				○		○		○
2	マガモ		○	○	○		○	○	○
3	カルガモ	○	○	○	○	○	○	○	○
4	オナガガモ				○	○	○		
5	コガモ							○	
6	ホシハジロ						○	○	
7	スズガモ	○	○	○	○	○	○	○	○
8	ウミアイサ		○					○	○
9	カンムリカイツブリ	○	○	○	○	○	○	○	○
10	ミミカイツブリ			○					
11	ハジロカイツブリ	○	○	○	○				○
12	キジバト	○	○	○	○	○	○	○	○
13	カワウ	○	○	○	○	○	○	○	○
14	ゴイサギ					○			
15	ササゴイ		○						
16	アオサギ	○	○	○	○	○	○	○	○
17	ダイサギ	○	○	○	○	○	○		
18	コサギ	○	○	○	○	○	○	○	○
19	オオバン	○	○	○	○	○	○	○	○
20	コチドリ	○	○		○	○	○		
21	タシギ								○
22	イソシギ	○	○	○	○	○	○	○	○
23	キョウジョシギ					○	○		
24	ユリカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○
25	ウミネコ	○	○	○	○	○	○	○	○
26	カモメ	○	○			○			
27	セグロカモメ	○	○	○	○	○	○	○	○
28	オオセグロカモメ	○	○	○	○	○	○		
29	コアジサシ	○	○	○	○	○	○		○
30	ミサゴ	○		○			○		○
31	ハチクマ	○							
32	トビ	○	○	○	○	○	○	○	○
33	ハイタカ		○		○				
34	オオタカ	○		○	○	○	○		○
35	ノスリ		○	○	○	○		○	
36	カワセミ			○			○		
37	チョウゲンボウ		○				○		
38	ハヤブサ			○	○	○	○	○	○
39	モズ			○	○	○	○	○	○
40	カケス				○				
41	オナガ			○	○	○	○		

表 10 (2) 鳥類確認種目録 (第 1 回～第 4 回)

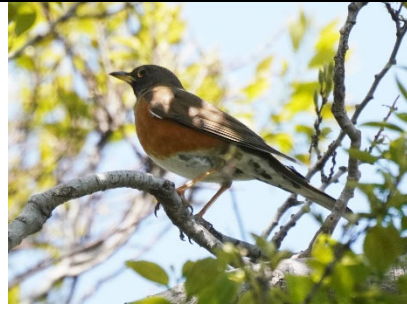
No.	種名	調査時期							
		第 1 回 (H27 夏～ H28 春)		第 2 回 (H28 秋～ H29 夏)		第 3 回 (H29 秋～ H30 夏)		第 4 回 (H30 秋～ H31 春)	
		東島	西島	東島	西島	東島	西島	東島	西島
42	ハシブトガラス	○	○	○	○	○	○	○	○
43	シジュウカラ	○	○	○	○	○	○	○	○
44	ヒバリ						○		
45	ツバメ	○	○	○	○	○	○		
46	ヒヨドリ	○	○	○	○	○	○	○	○
47	ウグイス	○	○	○	○	○	○	○	
48	オオムシクイ								○
49	メジロ	○	○	○	○	○	○	○	○
50	オオヨシキリ			○		○			
51	ムクドリ	○	○	○	○	○	○		
52	コムクドリ				○	○			
53	シロハラ	○	○	○	○				
54	アカハラ	○			○			○	
55	ツグミ	○	○	○	○	○	○	○	○
56	ジョウビタキ	○		○	○	○	○	○	○
57	イソヒヨドリ	○	○		○		○		○
58	キビタキ	○				○			
59	スズメ	○	○	○	○	○	○	○	○
60	キセキレイ			○					
61	ハクセキレイ	○	○	○	○	○	○	○	○
62	セグロセキレイ				○				
63	タヒバリ						○		
64	カワラヒワ	○	○	○	○	○	○	○	○
65	シメ							○	
66	ホオジロ	○		○	○			○	
67	アオジ	○	○	○	○	○	○	○	○
68	オオジュリン			○					
69	ドバト	○	○					○	
合計	69 種	41 種	40 種	44 種	47 種	42 種	45 種	35 種	35 種

 <p>カルガモ</p>	 <p>スズガモ(重要種)</p>
 <p>カワウ</p>	 <p>アオサギ</p>
 <p>コサギ(重要種)</p>	 <p>イソシギ(重要種)</p>
 <p>ユリカモメ</p>	 <p>ウミネコ</p>
 <p>トビ(重要種)</p>	 <p>ハシブトガラス</p>

写真 2 鳥の島で確認された主な鳥類 (1)



シジュウカラ(幼虫を採餌)



アカハラ



スズメ



カワラヒワ(アブラナの種子を採餌)

写真 2 鳥の島で確認された主な鳥類 (2)